

「環境未来都市」構想推進国際フォーラム

参考資料3

- ◆日時:平成24年2月21日(火)
- ◆場所:日経ホール(東京都千代田区)
- ◆主催:内閣官房・内閣府

●国内外参加者 約600人

- ・アジア諸国等の政府・自治体幹部、大学等研究者 約20カ国43人
(JICA主催「環境未来都市」構想推進セミナー参加者)
- ・環境未来都市、環境モデル都市、国、地方自治体、民間企業、
大学・研究機関、一般市民等 約560人

●海外招聘者 10人

- ・デンマーク貿易投資担当大臣 ピア・オールセン・デュア 氏
- ・C40研究部長 セス・シュルツ 氏
- ・ICLEI世界事務局次長 ジノ・ヴァン・ベギン 氏
- ・WHO高齢化と人生部長 ジョン・ベアード 氏
- ・インドネシア・スラバヤ市長 トゥリ・リスマハリニ 氏
- ・前デンマーク・コペンハーゲン市長 リット・ビヤールゴー 氏
- ・中国・上海市社会科学院常務副院長 左 学金(ツォ・シュエ・チン) 氏
- ・SWECO社上級顧問 ウルフ・ランハーゲン 氏
- ・セティアハルマン社事業開発部長 パイパー・モード・ナサー 氏
- ・インドネシア開発監督管理大統領実務室長官代行
トジョコルダ・ニラルタ・サマディ 氏



「環境未来都市」構想推進国際フォーラム

◆目的

「環境未来都市」構想の推進に向け、

- ① 構想及び環境未来都市の取組の理解と協力の輪を広げ、
- ② 国内外の有識者からの助言・示唆を得て、
- ③ 国際的ネットワーク連携の第一歩とすることを目的とする。



◆内容:

【第1部】趣旨説明、基調講演、パネルディスカッション

【第2部】低炭素都市推進国際会議（環境価値）

高齢化分科会（社会的価値）

経済分科会（経済的価値）

【第3部】特別セッション（被災地の環境未来都市の

取組紹介）、全体総括



◆成果（共通認識事項）

【総論】「環境価値、社会的価値、経済的価値という3つの価値創造の最大化、バランス性が重要。」

- ① 人が中心（高いレベルの住民参加・協力・支援、多様な主体の巻き込み。）
- ② 都市の独自性、比較優位性の確立（歴史、伝統、文化、地理的特性、環境・省エネ技術等）
- ③ 自律的経済循環システムの確立（長期的な視点、公民連携、知識クラスターの形成。）
- ④ 都市間ネットワーク連携の必要性（都市環境問題の共通性、多様性、自律的相互連携、知の共有化。）
- ⑤ 成功事例の世界的な情報発信（世界的なネットワークへの参加・活用、国際フォーラムの継続開催。）